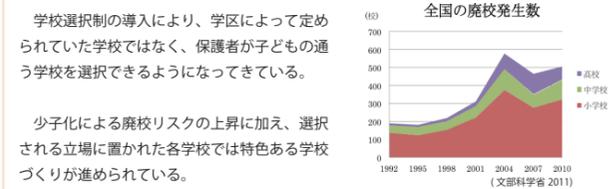


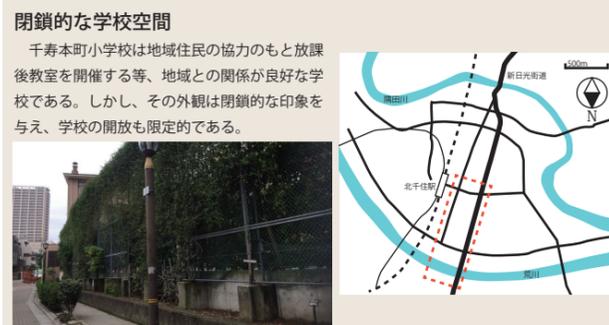
# 千住のくらすがえ

学校選択制導入と少子化により特色ある学校づくりが求められるいま、地域に対して開かれた学校という選択肢はひとつの有効な選択肢になり得るだろう。本提案では、既存の廃屋問題をきっかけとして学校自体を地域に広げて混ぜ、「暮らす」を変えることで子どもたちが地域の中でのびのびと育てるような学校づくりの形を示した。

## 背景 - 学校選択制導入と学校間の差別化



## 対象地域 - 北千住



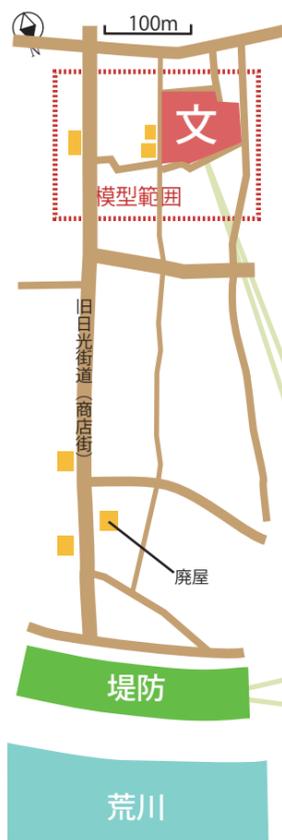
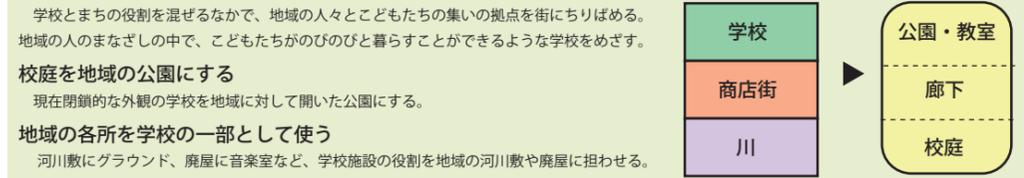
## 商店街と廃屋



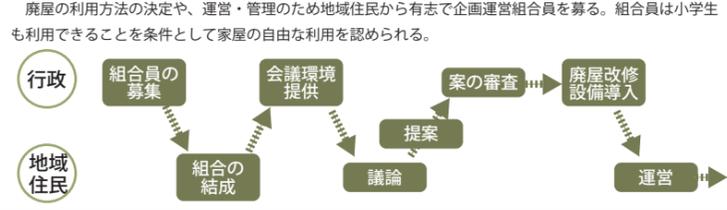
## 堤防による川との断絶



## コンセプト - 学校をまちに広げる



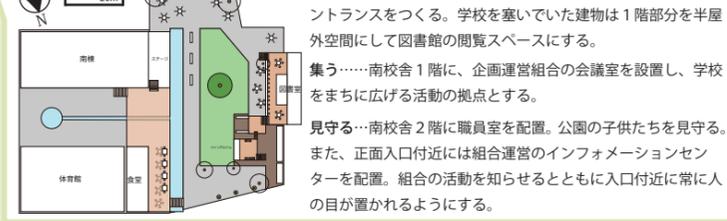
## 廃屋の活用に至るまで



## ハード提案

地域の各所を学校の一部として使うための準備として、また、行政が組合に対して提供する会議環境として学校、及び堤防の整備を行う

## 学校の校庭を地域の公園にする

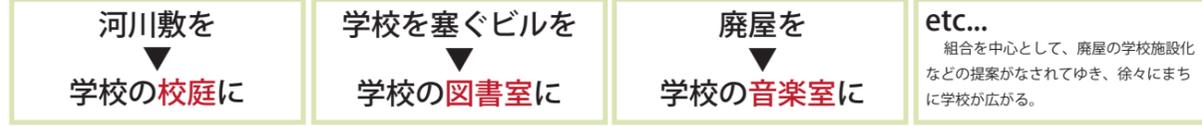


## 堤防内外の断絶感を緩和する

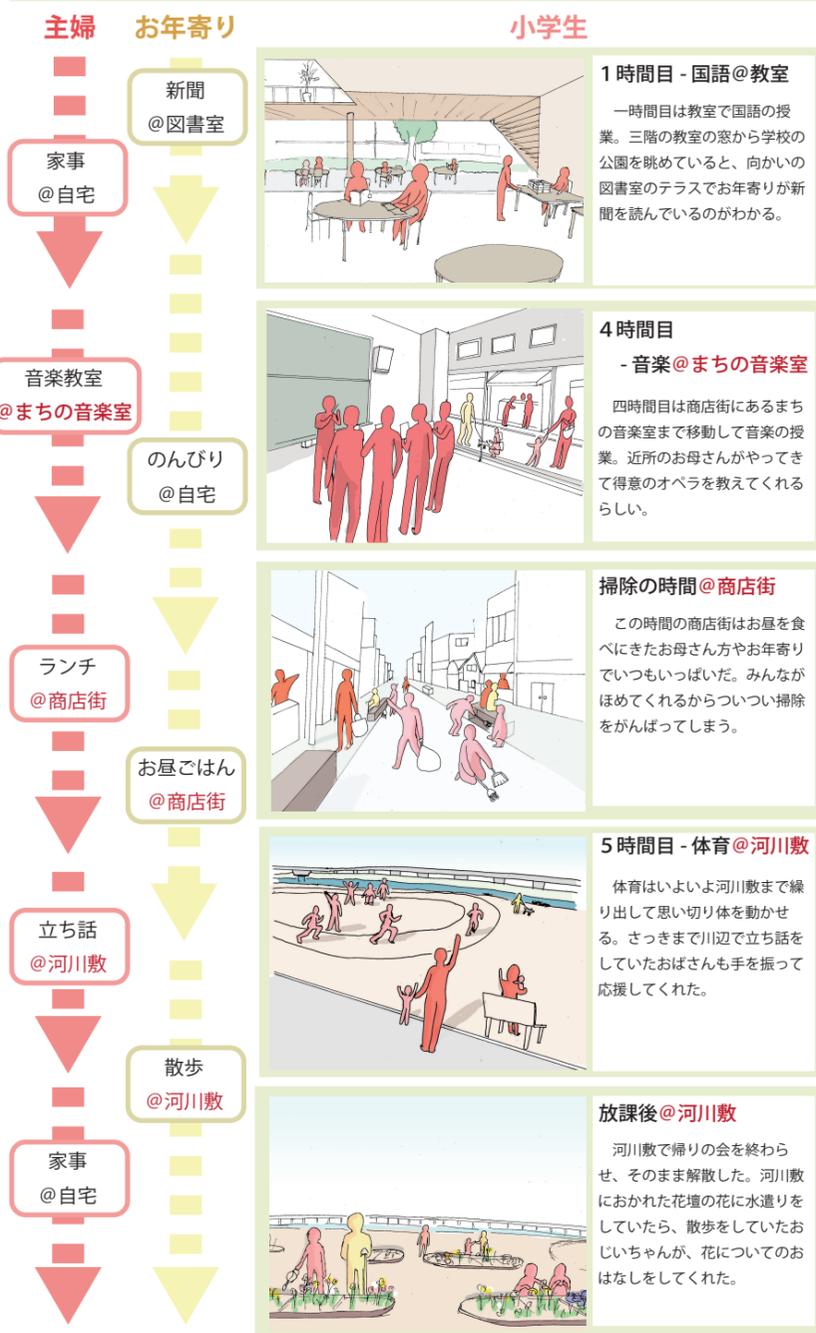


## 学校が広がる様子

まちのさまざまな場所が、学校施設と共通の用途を持ったものになっていく。



## 地域とあわせる時間割



## 各所に生まれる集い



## 学校とまちが一体になるまで

